



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 極東貿易株式会社 上場取引所 東  
コード番号 8093 URL <https://www.kbk.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 義也  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡田 薫 (TEL) 03-3244-3558  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	10,488	4.3	214	43.8	392	29.7	130	△24.7
2024年3月期第1四半期	10,059	7.3	149	—	303	17.2	172	17.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 741百万円(△25.0%) 2024年3月期第1四半期 989百万円(28.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	10.57	—
2024年3月期第1四半期	14.05	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	48,050	25,746	53.6	2,088.42
2024年3月期	49,646	25,690	51.7	2,083.59

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 25,744百万円 2024年3月期 25,685百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	37.50	—	56.00	93.50
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,500	4.2	1,200	7.9	1,500	0.9	1,200	3.7	97.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	12,991,836株	2024年3月期	12,991,836株
2025年3月期1Q	664,536株	2024年3月期	664,352株
2025年3月期1Q	12,327,438株	2024年3月期1Q	12,316,082株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業の業績が堅調に推移し、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加など、緩やかな回復基調が続いております。また米国経済は個人消費を中心に底堅く推移しており、インドや東南アジア地域においても高い経済成長が続いております。一方、世界的な金融引き締めが継続しており欧州経済ならびに中国経済の減速が懸念され、地政学リスクの高まりや、原材料・エネルギー価格の高騰、円安による物価の上昇など、景気の先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

このような経済環境の中、当グループはサステナブルな社会の実現と企業価値の向上を目指し、中期経営計画「KBKプラスワン2025」の4年目を迎え、引き続き計画で掲げた戦略に沿って事業ポートフォリオの最適化を図り、また新規事業分野ヘリソースを配置するなど事業基盤の強化を推し進めております。更に高水準の株主還元を継続することで、株主価値に資する資本政策の実行を着実に進めております。

当第1四半期連結累計期間につきましては、産業設備関連部門において海外プラント向け重電事業が好調を維持し、産業素材関連部門では北米向け自動車部品用樹脂・塗料事業が堅調に推移いたしました。また、機械部品関連部門は精密ファスナー（ねじ類）関連事業は自動車産業向けを中心に引き続き好調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ4億28百万円増加の104億88百万円となり、売上総利益も前年同期に比べ1億69百万円増加の22億97百万円となりました。人件費および研究開発費など販売費及び一般管理費が前年同期に比べ1億4百万円増加したものの、営業利益は前年同期に比べ65百万円増加の2億14百万円となりました。経常利益につきましては、営業利益の増加に加え、持分法による投資利益が増加したことにより、前年同期に比べ89百万円増加の3億92百万円となりましたものの、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、減損損失を特別損失として計上したことなどにより前年同期に比べ42百万円減少の1億30百万円となりました。

セグメント業績につきましては次のとおりであります。

#### 産業設備関連部門

産業インフラ関連事業の海外プラント向け重電事業が昨年度に引き続き好調を維持し、資源・計測機関連事業においても資源開発機器事業および防衛関連事業が堅調に推移いたしました。この結果、売上高は前年同期に比べ1億56百万円増加の27億58百万円となり、セグメント利益は前年同期に比べ47百万円増加したものの、地震・振動計事業における研究開発費などが増加したことから、13百万円の損失となりました。

#### 産業素材関連部門

機能素材関連事業は、自動車部品用樹脂・塗料事業において、堅調な米国経済を背景に北米向けが堅調に推移したものの中国向けは低迷いたしました。この結果、売上高は前年同期に比べ3億3百万円増加の33億57百万円となり、セグメント利益は前年同期に比べ18百万円減少の48百万円となりました。

#### 機械部品関連部門

精密ファスナー（ねじ類）関連事業は、自動車産業向けを中心にアジア地域、北米などの海外事業が牽引し、引き続き高水準に推移いたしました。また特殊スプリング関連事業において構造改革などにより収益性が改善し、この結果、売上高は前年同期に比べ30百万円減少の43億72百万円となり、セグメント利益は前年同期に比べ36百万円増加の1億78百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当グループの当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ15億96百万円減少し、480億50百万円となりました。その主な要因は、受取手形・売掛金及び契約資産が20億37百万円減少、前渡金が8億66百万円減少した一方、商品及び製品が11億41百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ16億52百万円減少し、223億3百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が14億59百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ56百万円増加し、257億46百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が5億60百万円減少した一方、為替換算調整勘定が4億77百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は概ね予定通り推移しており、2024年5月9日発表の通期連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,640	9,124
受取手形、売掛金及び契約資産	16,025	13,987
電子記録債権	3,629	3,296
商品及び製品	4,641	5,782
仕掛品	63	107
原材料及び貯蔵品	363	413
前渡金	2,667	1,801
その他	1,383	1,240
貸倒引当金	△79	△80
流動資産合計	37,334	35,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,901	1,902
減価償却累計額	△1,308	△1,359
建物及び構築物（純額）	593	542
機械装置及び運搬具	854	858
減価償却累計額	△676	△691
機械装置及び運搬具（純額）	177	166
工具、器具及び備品	1,179	1,185
減価償却累計額	△1,033	△1,045
工具、器具及び備品（純額）	145	140
リース資産	83	93
減価償却累計額	△51	△55
リース資産（純額）	31	38
使用権資産	263	241
減価償却累計額	△142	△117
使用権資産（純額）	120	123
土地	1,127	1,127
建設仮勘定	21	33
有形固定資産合計	2,217	2,171
無形固定資産		
その他	286	251
無形固定資産合計	286	251
投資その他の資産		
投資有価証券	7,967	8,094
長期貸付金	0	0
その他	1,853	1,873
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	9,808	9,954
固定資産合計	12,311	12,377
資産合計	49,646	48,050

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,193	8,733
電子記録債務	2,983	2,248
短期借入金	3,707	4,759
リース債務	93	100
未払法人税等	238	197
契約負債	2,647	2,128
賞与引当金	308	182
その他	1,031	949
流動負債合計	21,204	19,299
固定負債		
長期借入金	400	640
リース債務	64	72
長期未払金	59	62
退職給付に係る負債	1,283	1,215
繰延税金負債	932	1,000
資産除去債務	11	11
固定負債合計	2,752	3,003
負債合計	23,956	22,303
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,496	5,496
資本剰余金	7,951	7,957
利益剰余金	8,721	8,161
自己株式	△669	△669
株主資本合計	21,500	20,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,504	2,587
繰延ヘッジ損益	18	64
為替換算調整勘定	1,629	2,106
退職給付に係る調整累計額	31	39
その他の包括利益累計額合計	4,184	4,798
非支配株主持分	5	2
純資産合計	25,690	25,746
負債純資産合計	49,646	48,050

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	10,059	10,488
売上原価	7,930	8,190
売上総利益	2,128	2,297
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	823	844
従業員賞与	23	37
賞与引当金繰入額	102	106
退職給付費用	49	46
減価償却費	57	63
貸倒引当金繰入額	3	△0
その他	919	983
販売費及び一般管理費合計	1,979	2,083
営業利益	149	214
営業外収益		
受取利息	4	17
受取配当金	136	130
為替差益	6	9
持分法による投資利益	9	33
その他	14	4
営業外収益合計	171	195
営業外費用		
支払利息	6	10
その他	11	6
営業外費用合計	17	17
経常利益	303	392
特別損失		
減損損失	-	79
原状回復費用	13	-
特別損失合計	13	79
税金等調整前四半期純利益	289	313
法人税、住民税及び事業税	107	141
法人税等調整額	15	44
法人税等合計	122	186
四半期純利益	166	127
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	172	130

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	166	127
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	425	83
繰延ヘッジ損益	13	46
為替換算調整勘定	183	445
退職給付に係る調整額	182	7
持分法適用会社に対する持分相当額	17	32
その他の包括利益合計	822	614
四半期包括利益	989	741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	995	744
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業設備 関連部門	産業素材 関連部門	機械部品 関連部門	計		
売上高						
商品の販売等に係る収益	2,157	2,931	4,403	9,492	—	9,492
サービス等に係る収益						
仲介手数料	137	108	—	246	—	246
その他サービスに係る 収益	307	13	—	320	—	320
顧客との契約から生じる 収益	2,602	3,054	4,403	10,059	—	10,059
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,602	3,054	4,403	10,059	—	10,059
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	26	121	169	△169	—
計	2,624	3,080	4,524	10,229	△169	10,059
セグメント利益又は損失(△)	△60	67	141	148	1	149

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額1百万円は、棚卸資産の調整によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 当社は、2023年10月1日に行われた商材の部門間移動に伴い、「産業設備関連部門」に含めていた金属繊維事業を「産業素材関連部門」に区分しております。この移動に伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分にて記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	産業設備 関連部門	産業素材 関連部門	機械部品 関連部門	計		
売上高						
商品の販売等に係る収益	2,333	3,216	4,371	9,921	—	9,921
サービス等に係る収益						
仲介手数料	137	122	1	261	—	261
その他サービスに係る 収益	286	18	—	305	—	305
顧客との契約から生じる 収益	2,758	3,357	4,372	10,488	—	10,488
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,758	3,357	4,372	10,488	—	10,488
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30	79	177	287	△287	—
計	2,788	3,436	4,549	10,775	△287	10,488
セグメント利益又は損失(△)	△13	48	178	213	1	214

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額1百万円は、棚卸資産の調整によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

各報告セグメントに属する主な取扱商品・サービスは以下のとおりです。

セグメントの名称	主な取扱商品またはサービスの内容
産業設備関連部門	鉄鋼、非鉄、自動車、化学、造船、プラントエンジニアリングなどの関連機械装置、電気機械設備、検査装置、石油掘削関連機器、石油・天然ガス探鉱技術サービスなどの資源開発機器、電子機器、電子部品及びソフトウェア、計装制御システム、地震・振動計、画像処理装置、航空機搭載電子機器、地上支援電子機器、航空機用機材、航法装置などを販売
産業素材関連部門	複合材料製造設備、繊維加工機械、食肉加工機、樹脂加工機械、塗装設備、測定・分析装置、食品用副資材、樹脂、塗料、建設用資材、合成複合材料、鋳鍛造品などを販売
機械部品関連部門	精密ファスナー(ねじ類)および関連機械器具工具、定荷重ばね、ぜんまい、ステンレス製各種ばねなどを販売

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

各報告セグメントに分配していない全社資産に含まれる保養所については、売却の意思決定を行ったこと及び市場価額が著しく下落していたことから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は当第1四半期連結累計期間においては79百万円であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	85百万円	87百万円

(収益認識関係)

(1) 収益の分解

当グループは、本社に製品・グループ別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「産業設備関連部門」「産業素材関連部門」「機械部品関連部門」の3つの事業本部で計上される収益を「売上高」として表示しています。

事業本部別の収益は「(セグメント情報等) 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報」に記載のとおりです。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。